



Point

## 菊栽培の作業スケジュールを確認し、 適期作業による適期出荷を目指しましょう!



男鹿地区営農センター 鈴木 拓馬

4月に入り需要期に向けた作業が始まりました。農作業の遅れは、後々の生育への悪影響や出荷時期の遅れにも影響してきます。5月以降の作業も視野に入れ、今年の作業スケジュールを確認してください。

### 施設栽培(輪菊)

#### ●7月出荷の作業目安

生育後半は徐々に気温が上がり、草丈が伸びやすくなります。  
消灯開始の時期は、やや短めの草丈45cm程度を目安に開始してください。

#### 【例】出荷予定日が7/15の場合(到花日数を52日とした場合の逆算)

- ・出荷予定7/15→消灯開始5/24頃(草丈45cm程度)
- ・再電照の目安…消灯10日後から4日間
- ・追肥の目安…100坪当たりユークベレ878を2袋

#### ●お盆向け(「岩の白扇」の場合)

出荷が集中する時期のため、段階に分けた出荷体系(例:出荷予定日7/31、8/5、8/7など)にしましょう。

#### 【例】出荷予定日が8/5の場合(到花日数を50日とした場合の逆算)

- ・摘芯栽培  
出荷予定8/5→  
消灯開始6/16頃(草丈50cm程度)→摘芯4/27→直挿4/10頃
- ・無摘芯栽培  
出荷予定8/5→  
消灯開始6/16頃(草丈50cm程度)→直挿4/23頃



### 露地栽培(輪菊、小菊)

#### ●挿し芽作業について

温床線を使用した場合の育苗期間は14日程度で、無加温では21日程度となります。  
親株の生育が遅れた場合は、温床線を使用することにより、育苗期間を短くすることで作業の遅れを緩和できます。また、温床線を使用した際は、設定温度を徐々に下げて低温に慣らしてから定植に移りましょう。

### 施設、露地共通(輪菊、小菊)

#### ●整枝作業について

整枝を行う目安として、草丈が25cm程度になってから行います。整枝は最終的な切り揃えや受光に影響してくるため、2本仕立て、3本仕立てのどちらの場合でも、長さが不揃いなものから切り落としましょう。